

館 報

Oct. 2003

No. 53

The Yokohama National University Library Bulletin

目 次

運を良くする4つの法則（井伊 雅子）	1
図書の購入手続き、納品状況／予算執行状況照会オンラインサービスを開始しました！（小池 正利）	3
平成15年度新規購入雑誌一覧	5
平成15年度購入中止雑誌一覧	5
図書館に関する会議・主要日誌	7
図書館からのお知らせ	8

運を良くする4つの法則

井 伊 雅 子

夏休みに入ってまもない8月の初めに、ゼミの学生たちと「図書館を活用するための講習会」に参加しました。学部3年生は秋に他大学との合同ゼミ、4年生は卒論、大学院生は修士、博士論文と、皆身近な課題を抱えており、とても有意義な講習会となりました。博士課程の1年生のある学生は、学部を含めて7年間横浜国大に通っているようですが、学部の一年生の時にこうしたガイダンスを受けていたらこの7年間に大きな違いがあったのに、ととても悔しい思いをしたそうです。

私自身も、資料の検索などは日常茶飯事に行っているのですが、じっくりと2時間も専門家から講習を受けると学ぶことがとても多く、いかに自己流で無駄なことをしていたか実感しました。最近の図書館活用方法は、コンピューターの進化とともに目覚ましいものがありますので、一度ガイダンスを受ければ安心と言うことはなく、毎年またはせめて隔年ごとに受ける必要があるようです。

情報化社会の中で、いかに情報を活用することが大切であるか、とよく言われますが、今回この図書館の活用ガイダンスに参加した学生は学部の3年生から博士課程の学生までそれぞれの状況に応じて例外なく、図書館の活用方法を知って、みんなとても得をした気

分になりました。

期末試験が終了して数日後だったのですが、参加者が少なかったのが残念でした。自由参加にしたのですが、旅行に出かける、アルバイトがある、専門学校が忙しいなどそれなりの理由はあるのですが、このガイダンスに出席したか否かで同じゼミに学んでいても今後大きな差がでてきそうです。同じように講義やゼミに参加していても卒業する頃には大きな差が出てきますし、また卒業して数年立つとますますその差が大きくなります。その差はどこからくるのかと、最近興味をもって学生達を観察しているのですが、今回学生達と図書館ガイダンスに参加してその秘密が少しわかった気がします。

今年の前期のゼミでThe Luck Factor: a Scientific Study of the Lucky Mindを読みました。世の中には運が良い人と悪い人がいるものですが、イギリスの心理学者が、数百人の人々を対象に人間の運に関する研究を行い、その結論として、運が良い人が持っている4つの基本原理を導き出したその研究結果を一般向けに書いたものです。

その本によると、機会が訪れた時にそれを最大限に利用するというのが最初の原理だそうです。それでは、

どのようにしてそうした機会に恵まれるのでしょうか。くじ引きに当たる確率を上げる法則と同じで、だめもとでとにかく何か機会があったら行動を起こすことだそうです。例えば、就職活動にしても、たぶんダメだからと最初から諦めてしまえば何もおこらないけれど、とにかく受けてみる。うまくいかないことや失敗することもあるだろうけれど、そうした機会をどんどん活用して、経験を積むことにより、直観力を養うことができるそうです。普段からそうして能力を磨いておくと、機会が訪れた時に、躊躇することなく大事な決定をすることができるそうです。

(ちなみに私のゼミでは経済学、特にミクロ経済理論に基づいた公共政策を学んでいます。この数年間毎回ゼミの最初にNew York TimesやEconomistなどの英字新聞や雑誌の記事を読むことを習慣にしていますが、今年は一冊の本を読み通すことにしました。能力ややる気があっても就職活動がうまくいかない学生が増えてきて、少しでも学生達の参考になるのではないかと思ったからです。あと、私自身、運を向上する秘訣を知りたかったためもあります。)

学生達が情報を得る場として、講義や教師、友人そして、最近ではインターネットなどが大きな比重を占めています。大学ではなんといっても図書館の役割が大きいと思います。横浜国大では新しい図書館ができてとくに情報発信として重要な場となりました。図書館の職員や教員は、それぞれの専門分野から選りすぐった情報を学生に提供するという重要な役割を担っています。私自身、学生時代に図書館や学務係などで見かけた掲示やポスターがきっかけでさまざまな経験に恵まれました。今振り返ってみると、私の人生を変えたような大きな出来事(学外で開催された国際学生会議のお知らせや国際機関で働く人たちの学内シンポジウムなど)も、そうした掲示がきっかけでした。最近では怪しげな集会への勧誘など多いのですが、大学が掲示するものは安心できるものです。

新しい図書館はメディアホールや情報ラウンジなど、学生に役立つ情報を提供する場としてたいへん恵まれています。はたしてそれらは十分に生かされているのでしょうか。

横浜国大は大学自体は小さい大学ですが、横浜や鎌倉など美術館、能楽堂、コンサートホールなど文化的にも恵まれている地域です。東京にも近く、地方出身の学生が多いだけにこうした地の利を生かして欲しいと思っています。そのためには情報ラウンジは、本学の学生の文化的・教育的に重要な情報を提供する場となります。

ところが、図書館ガイダンスのあとの図書館ツアーで、気づいたのですが情報ラウンジは、マグネットの

きくスチールパネルとなっているのに、ポスターなどの掲示物はまったくなく、2階の入り口のトイレの前に屏風が置いてあり、そこに展覧会やシンポジウムの掲示が溢れんばかりに掲示してありました。どのような掲示物があるのかゆっくり見たかったのですが、トイレの前をうろろしていると怪しい人みたいですし、いずれにしてもゆっくりポスターを眺める気は起こりません。ゼミ生たちにも意見を求めたところ、あの掲示物はトイレを隠すためにおいてあるものだったそうです。もちろん、そこに掲示されているものなど一度も見ることがないそうです。

図書館の方をお願いします。トイレの前の屏風はやめて、情報ラウンジを活用していただけないでしょうか。情報ラウンジは、勉強や仕事の合間にホッと息をつけるカフェの隣にあります。大きな机では学生達が勉強したり議論をしています。コーヒーを飲みながら、また、読書や友人達との議論に疲れた時に、ちょっと見回すと、シンポジウムや美術館のお知らせをゆっくりとみるのができたらとても素敵だと思うのです。美術館や展覧会のお知らせはポスター自体がとても芸術性の高いものも多く、そうしたものに日常触れる機会は学生だけでなく、私達教職員にとっても大切ではないでしょうか。

現在の情報ラウンジの使用条件として、「学内に於ける知識や情報の交換および研究成果の発表、または学外者に向けた情報発信として、附属図書館または本学の教職員が企画・実施(共催を含む)する教育・研究のため」とか、「掲示できる期間は、5日を限度とする」とあります。演劇やコンサート、または学内の教員が薦めるシンポジウムやワークショップなど学生に伝えたい社会で行われている重要な情報も、本学の教職員が関係していないものは掲示できないということです。学外者に向けた情報発信よりは、学外の文化的・教育的な情報を学内の学生達に伝えたいと思うのですが、こうした規則は何のための規則なのでしょう。大学の一番の宝物は学生であり、その学生のために何が大切なのか。それをまず第一に考えて図書館を運営していただきたいです。

新しくできた図書館は学生達の自慢です。学外から訪ねてきた友人をカフェに連れて行き、館内を案内すると必ず誉められるそうです。図書館が学生達にとって、親しみやすい、居心地の良い空間になっています。国大の学生達には、この図書館を大いに活用して、大いに学んで、大きな運もつかんで欲しいのです。

(4つの法則とは何なのだろうと興味のある方は、The Luck Factor by Richard Wiseman, Random House (2003)をご一読ください。)

(いい まさこ 経済学部助教授)

図書の購入手続き、納品状況／予算執行状況照会 オンラインサービスを開始しました！

小 池 正 利

横浜国立大学附属図書館では、平成14年度より図書の購入手続き、及び納品状況・予算執行状況照会のオンラインサービスを開始しました。

これは、平成11年度に本学の事務局経理部が開発した「物品請求・予算照会システム」に、新たに図書の購入申込み画面を追加し、さらに同システムと図書館の業務システムとの間で登録データが相互に連携できる機能を整備することで、先生方が、一般物品等の購入と同じ方式で図書の購入手続きと状況照会が行えるようにしたものです。

今回、図書購入手続き等をオンライン化（以下「新方式」）したことにより、次のようなサービス向上を実現することができました。

① 図書の購入申込みが簡単になりました。

これまで、先生方が図書を購入する際は、図書館より「図書館資料購入請求票」を取り寄せ、これに必要な事項を記入した上で、図書館の受入担当係に持参していただいていた。

新方式では、学内LANを使って入力データをオンライン処理するため、研究室等のパソコンよりインターネットで図書の購入申込みが行えるようになり、図書館に足を運んでいただく必要がなくなりました。

また、納品状況や予算執行状況の照会についても同様に、研究室等のパソコンより簡単に最新情報を確認できるようになりました。

② 予算振替が必要なくなりました。

これまで、図書館では先生方が図書を購入するための予算を独自に管理する必要があったため、先生方から図書館に、あらかじめ相応の「資料費」を振り替えていただかなければなりません。

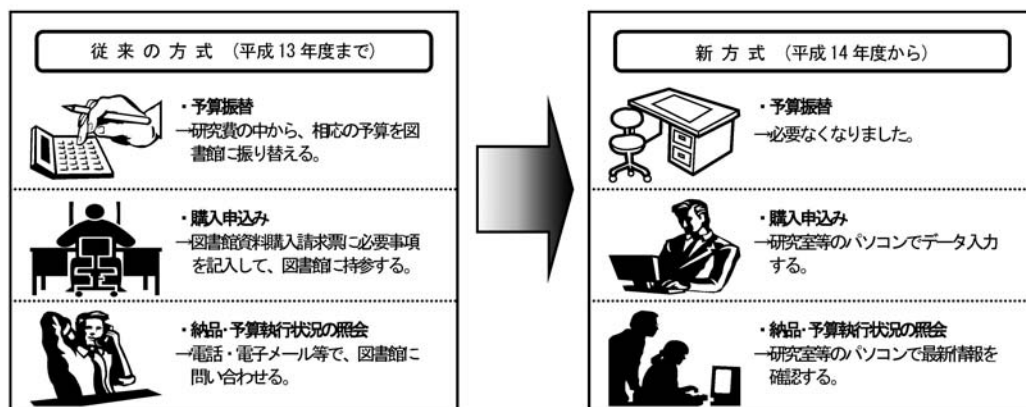
新方式では、図書と一般物品等の購入手続きが同一会計で処理できるようになったので、先生方の予算より図書館に「資料費」を振り替えていただく必要がなくなりました。

部局名	附属図書館	経理区分	学用図書費	経理区分	校費
配分予算額	1,000,000円	請求見込額	110,919円	見込残額	889,081円

請求番号 999999
請求日 2003年9月1日
管理区分 図書
ISBN番号 ISBN-9999999999
資料名 横浜国立大学のおゆみ
著者名
詳細規格
出版社 横浜国立大学
出版年 2003年
単価区分 単品
数量 1
単価 10,000円
総価 10,000円
得意管理
手配者 999999 横浜太郎
使用者 A01 中央図書館開架
通言語

— 物品請求・予算照会システム「新規書籍請求」画面 —

先生方の手続きは、このように変わりました・・・



個別物品別予算照会					
部局名	附属図書館	百分率額	1,000,000円		
経費名	150 学生用図書費	請求第2額	110,919円	見込率	
経費区分	校費	見込率	889,081円	見込率	11.09%

経費区分	番号	請求日	品名	金額	状況	業者名
150	02801	2013/09/01	横国の歴史1	31500	納品	有楽堂
150	02802	2013/09/01	横国の歴史2	31500	納品	有楽堂
150	02803	2013/09/01	横国の歴史3	31500	納品	有楽堂
150	02804	2013/09/01	横国の歴史4	31500	納品	有楽堂
150	02805	2013/09/01	横国の歴史5	31500	納品	有楽堂
150	02806	2013/09/01	大学図書館の研究	52500	納品	丸善
150	02807	2013/09/01	小学校国語教科書1年	6000	発注	三省堂書店
150	02808	2013/09/01	小学校国語教科書2年	6000	発注	三省堂書店
150	02809	2013/09/01	小学校国語教科書3年	6000	発注	三省堂書店
150	02810	2013/09/01	小学校国語教科書4年	6000	発注	三省堂書店
150	02811	2013/09/01	小学校国語教科書5年	6000	発注	三省堂書店
150	02812	2013/09/01	小学校国語教科書6年	6000	発注	三省堂書店

— 物品請求・予算照会システム「個別物品別予算照会」画面 —

③ 担当窓口が一本化されました。

これまで、図書館では校費を財源とする図書の購入手続きだけを取扱っていたため、科学研究費補助金や委任経理金等を財源とする場合には、図書であっても購入手続きは経理部契約室が担当していました。

新方式では、財源科目に関係なく、また教材使用等で消耗品管理する場合であっても、図書の購入手続きはすべて図書館が取扱うことになったので、担当窓口が一本化されわかりやすくなりました。

④ 購入手続きが一本化されました。

これまで、図書と一般物品等とは業務システムが連携していなかったため、購入手続きや状況照会が煩雑になり、先生方にはご不便をおかけしていました。

新方式では、経理部・施設部・図書館3者が共通のユーザ用画面を使用しているため、先生方は、図書と一般物品等を区別することなく、購入手続きや状況照会が行えるようになりました。

平成14年度、図書館ではこの新方式により業務を行ったわけですが、その実績を見ると、前年度と比較して購入手続き等の取扱件数が大幅に増加する結果となりました。例えば、購入申込みの担当窓口を一本化したことで、受付件数は35%（約5000件）も増えたという数字が出ています。

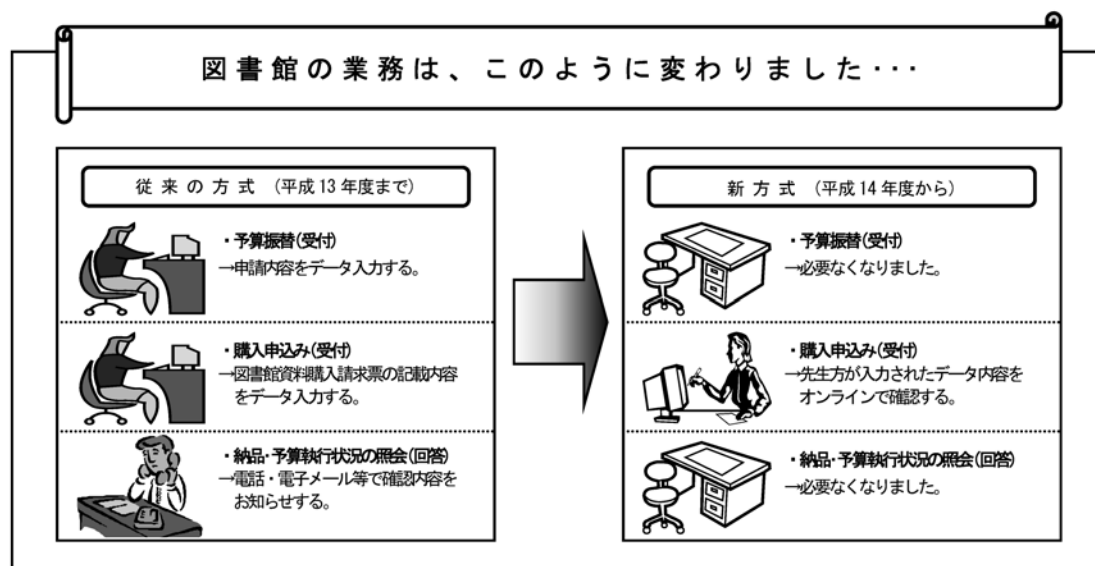
しかしながら、予算振替や購入申込みのデータ入力が必要になり、また納品状況・予算執行状況の照会がオンライン化されるなど省力化も同時に進んだことで、取扱件数の急増が原因で業務が破綻するような事態に陥ることもなく、なんとか無事1年間の業務を終えることができました。

このように、図書館にとっては「サービス向上が実現し、実績として取扱件数も増大したが、省力化が進んだためにあまり業務量は増大しない」という好結果が得られたわけですが、当初の予想に反して（？）大きな問題に見舞われることなく1年間を乗り切ることができたのは、とりもなおさず新方式での業務に対して、先生方がご理解くださり、また積極にご協力くださったおかげです。

平成16年度の国立大学法人化とともに現行の「物品請求・予算照会システム」は廃止されますが、現在同システムで行っているサービスは法人化後も変わらず新システムに引き継がれますので、今後も国立大学における資料受入業務の模範例となるべく、さらなるサービス拡充に努めていく所存です。

最後になりましたが、新方式の導入にあたり、大変お世話になった（今もお世話になり、またこれからもお世話になるであろう）総務部大学情報室、経理部契約室の方々には深く感謝しております。ありがとうございました。

（こいけ まさとし 附属図書館情報管理課システム管理係長）



平成15年度新規購入雑誌一覧

(国内誌)

- 1 エネルギー・資源
- 2 解放社会学研究
- 3 環境技術
- 4 銀行法務21
- 5 空気調和・衛生工学会論文集
- 6 経済学史学会年報
- 7 交通工学
- 8 地理情報システム学会講演論文集
- 9 登記情報
- 10 日本エネルギー学会誌
- 11 日本災害情報学会誌
- 12 民事法情報
- 13 流通とシステム
- 14 10+1
- 15 Be-pal
- 16 GIS : 理論と応用
- 17 IEP JAPAN
- 18 JMAマネジメントレビュー
- 19 NTT DoCoMo テクニカルジャーナル
- 20 O plus E
- 21 TOEIC Friends

(外国誌)

- 1 Australian Journal of Asian Law
- 2 Criminal Law Reporter

- 3 Cryptologia
- 4 Current Biology
- 5 Deutsche Notar-Zeitschrift
- 6 Diacritics
- 7 Differences
- 8 Financial Counseling and Planning
- 9 Goltdammer's Archiv für Strafrecht
- 10 L'Histoire
- 11 International Journal of the Sociology of Language
- 12 KTS : Zeitschrift für Insolvenzrecht : Konkurs, Treuhand, Sanierung
- 13 Language Acquisition
- 14 Molecular Cell
- 15 Nature Biotechnology
- 16 Neue Zeitschrift für das Recht der Insolvenz und Sanierung
- 17 Oikos
- 18 Organic and Biomolecular Chemistry
- 19 Pacific Accounting Review
- 20 Probus
- 21 Studia Linguistica : revue de linguistique générale et comparée
- 22 Zeitschrift für das gesamte Insolvenzrecht
- 23 国際金融研究
- 24 資本市場
- 25 覆印報刊資料婦女研究

平成15年度購入中止雑誌一覧

(国内誌)

- 1 栄養学レビュー
- 2 女たちの21世紀
- 3 海洋水産エンジニアリング
- 4 化学史研究
- 5 科学哲学
- 6 化学と教育
- 7 教育新聞
- 8 資格試験のすべて
- 9 資源環境対策
- 10 商工金融
- 11 食と健康
- 12 世界環境規制ニュース
- 13 専門図書館

- 14 電子情報通信学会技術研究報告. IE
- 15 電子情報通信学会技術研究報告. PRMU
- 16 図書館雑誌
- 17 臨床栄養
- 18 JYVA Letter
- 19 Trigger

(外国誌)

- 1 Adult Education Quarterly
- 2 Advances in Consumer Research
- 3 American Biology Teacher
- 4 American Journal of Physics
- 5 Analyst
- 6 Annales Academiae Scientiarum Fennicae. Mathematica

- | | | | |
|----|---|----|--|
| 7 | Annales médico-psychologiques | 53 | Hereditas |
| 8 | Annals of Neurology | 54 | History of Economic Thought Newsletter |
| 9 | Annals of Pure and Applied Logic | 55 | Industrial and Labor Relations Review |
| 10 | Applied Psycholinguistics | 56 | Industrial Marketing Management |
| 11 | Archithese | 57 | Intellectual Property Reports |
| 12 | Archives of Disease in Childhood | 58 | Internal Revenue Bulletin |
| 13 | Atmospheric Environment | 59 | International Affairs |
| 14 | Aussenwirtschaft | 60 | International Currency Review |
| 15 | Australian Journal of Adult Learning | 61 | International Journal of Acarology |
| 16 | Babel | 62 | International Journal of Health Services |
| 17 | The Behavioral and Brain Sciences | 63 | International Journal of Mathematics |
| 18 | The British Journal of Educational Psychology | 64 | International Journal of Middle East Studies |
| 19 | Bulletin of the American Meteorological Society | 65 | International Journal of Lifelong Education |
| 20 | Bulletin Quotidien Europe | 66 | International Journal of Theoretical and Applied Finance |
| 21 | Cahiers de droit européen | 67 | Izvestiya. Mathematics |
| 22 | The Camping Magazine | 68 | Journal of American Studies |
| 23 | Chemosphere | 69 | Journal of Biological Education |
| 24 | Chromosoma | 70 | Journal of British Studies |
| 25 | Cladistics : International Journal of the Willi Henning Society | 71 | Journal of College Science Teaching |
| 26 | Cognition and Instruction | 72 | Journal of Constructivist Psychology |
| 27 | Comparative Labor Law and Policy Journal | 73 | Journal of Curriculum Studies |
| 28 | Critique of Anthropology | 74 | Journal of Earthquake Engineering |
| 29 | The Current Digest of the Post-Soviet Press | 75 | The Journal of Environmental Education |
| 30 | Current Mathematical Publications | 76 | Journal of Geoscience Education |
| 31 | Curriculum Inquiry | 77 | Journal of Materials Processing Technology |
| 32 | Doklady Mathematics | 78 | Journal of Materials Science |
| 33 | East Asian History | 79 | Journal of Neurology, Neurosurgery and Psychiatry |
| 34 | Ecology Law Quarterly | 80 | Journal of Psycholinguistic Research |
| 35 | Economia Internazionale | 81 | The Journal of Symbolic Logic |
| 36 | Économies et Sociétés | 82 | Journal of Technical Physics |
| 37 | Education in Chemistry | 83 | Journal of the History of Sexuality |
| 38 | Educational Administration Quarterly | 84 | Journal of the Indian Mathematical Society |
| 39 | Educational Psychologist | 85 | Journal of the Learning Sciences |
| 40 | Energy Sources | 86 | The Journals of Gerontology. Series B, Psychological Science |
| 41 | Essays in Criticism | 87 | Juristische Rundschau |
| 42 | Euromoney | 88 | Juristische Schulung |
| 43 | European Journal of Teacher Education | 89 | Learning and Instruction |
| 44 | European Law Journal | 90 | Marie Claire. UK ed. |
| 45 | European Public Law | 91 | Marine Log |
| 46 | European Union Politics : EUP | 92 | Marine Propulsion International |
| 47 | Experiments in Fluids | 93 | Marine Technology and Sname News |
| 48 | Fast Company | 94 | Marine Technology Society Journal |
| 49 | Foreign Policy | 95 | Mathematische und naturwissenschaftliche Unterricht |
| 50 | The Gerontologist | 96 | The Motor Ship |
| 51 | The Guardian Weekly | 97 | Museum News |
| 52 | Harper's Bazar | | |

- | | |
|--|--|
| 98 The Naval Architect | 135 Social Sciences |
| 99 Naval Engineers Journal | 136 Sociology of Health and Illness |
| 100 New Statesman | 137 Stochastic Models |
| 101 Noise and Vibration Worldwide | 138 Studies in English Literature 1500-1900 |
| 102 Nuclear Fusion | 139 Studies in the Education of Adults |
| 103 Occupational and Environmental Medicine | 140 Swimming Technique |
| 104 Offshore | 141 Systematic Biology |
| 105 Osteuropa | 142 Tomorrow |
| 106 Pacific Affairs | 143 Transactions of the Institution of Engineers and Shipbuilder |
| 107 Periodica Mathematica Hungarica | 144 Unterricht Biologie |
| 108 Physics Education | 145 Vierteljahrschrift für Social- und Wirtschaftsgeschichte |
| 109 The Physics Teacher | 146 Wear |
| 110 Planecon Report | 147 Wochenbericht |
| 111 Plasma Physics and Controlled Fusion | 148 World Politics |
| 112 Post-Soviet Affairs | 149 World Trade and Arbitration Materials |
| 113 Proceedings of the American Society of International Law | 150 Die Zeit |
| 114 Progress in Physical Geography | 151 Zeitschrift für Geschichtswissenschaft |
| 115 Prokla | 152 Zeitschrift für Versicherungswesen |
| 116 Psychological Assessment | 153 Доклады Академии наук |
| 117 Psychology and Aging | 154 Физическая культура в школе |
| 118 Public Interest | 155 Новая и новейшая история |
| 119 Quarterly Journal of the Royal Meteorological Society | 156 Отечественная история |
| 120 Queueing Systems | 157 Проблемы передачи информации |
| 121 Random Structures and Algorithms | 158 Теория и практика физической культуры |
| 122 Recht der Arbeit | 159 Украинский математический журнал |
| 123 Research in Science and Technological Education | 160 Вопросы истории |
| 124 Revue des études coopératives mutualistes et associatives | 161 教学与研究 |
| 125 Revue d'histoire des sciences | 162 江蘇教育 |
| 126 Russian Mathematical Surveys | 163 光明日報 |
| 127 Schiffstechnik | 164 湖南教育 |
| 128 Science and Education | 165 上海教育 |
| 129 Scientia Marina | 166 人民教育 |
| 130 Ship and Boat International | 167 人民中国 |
| 131 Shipping World and Shipbuilder | 168 中国教育報 |
| 132 Social and Economic Studies | 169 天津教育 |
| 133 Social Science Information | 170 北京教育 |
| 134 Social Science Japan Journal : SSJJ : an International Journal of Social Science Research on Japan | 171 香港中国近代史学会会刊 |
| | 172 民族教育研究 |

図書館に関する会議

(平成15年5月1日～平成15年8月31日)

運営委員会

平成15年度第1回(平成15年5月16日)

<審議事項>

- 1) 平成15年度附属図書館事業計画(案)について
- 2) 平成16年度電子ジャーナルの購入計画について
- 3) 平成15年度教育研究高度化経費及び学長裁量経費の要求について
- 4) 平成15年度附属図書館図書館資料選定小委員会の設置について

平成15年度第2回（平成15年7月18日）

＜審議事項＞

- 1) 平成14年度附属図書館決算について
- 2) 平成15年度附属図書館予算案について

図書館資料選定小委員会

平成15年度第1回（平成15年6月13日）

＜審議事項＞

- 1) 平成15年度附属図書館図書館資料収書計画について
- 2) 平成15年度学生用図書及び教養教育図書の選定について
- 3) 平成16年度自然科学系外国雑誌の購入について

主 要 日 誌

（平成15年5月1日～平成15年8月31日）

- 5.20 中央図書館竣工記念式典
- 5.23 横浜市内大学図書館コンソーシアム設立検討委員会（神奈川大学）
- 5.23 神奈川県内大学図書館相互協力協議会（東海大学）
- 5.23 神奈川県図書館協会研修委員会（神奈川県立図書館）
- 5.28 国立大学附属図書館事務部課長会議（東京医科歯科大学）
- 6.20 神奈川県図書館協会大学図書館委員会（横浜国立大学）
- 6.25-26 国立大学図書館協議会第50回記念総会（大宮ソニックシティ）
- 7.3 電子ジャーナル・タスクフォース（東京工業大学）
- 7.4 横浜市内大学図書館コンソーシアム設立検討委員会（神奈川大学）
- 7.25 神奈川県内大学図書館相互協力協議会（東海大学）
- 8.8 神奈川県図書館協会職員研修会（横浜国立大学）

図書館からのお知らせ

中央図書館竣工記念式典・祝賀会を挙行

5月20日（火）に中央図書館竣工記念式典が中央図書館1階メディアホールで盛大に執り行われました。同式典では、笹井附属図書館長の式辞及び飯田学長の挨拶の後、白数文部科学省大臣官房文教施設部技術課課長補佐、古池宇都宮大学附属図書館長からそれぞれ祝辞が述べられ、続いて岡元施設部長より工事経過報告があり、工事関係者への感謝状贈呈が行われました。



左から徳重事務局長、笹井附属図書館長、白数文部科学省大臣官房文教施設部技術課課長補佐、飯田学長、板垣前学長

式典終了後、中央図書館1階エントランス前で、白数文部科学省大臣官房文教施設部技術課課長補佐、飯田学長、笹井附属図書館長、板垣前学長、徳重事務局長によるテープ・カットが行われました。

その後、中央図書館内の施設見学が行われ、見学終了後大学会館3階きょうら亭に場所を移して祝賀会が催され、権上前附属図書館長の挨拶、板垣前学長による乾杯の音頭、及川総合研究大学院大学図書館長、吉田神奈川県立図書館長からの祝辞があり、和やかな雰囲気での歓談の後、盛大のうちに閉会となりました。

**「オープンキャンパス2003」で
施設公開と資料展示を実施**

8月2日（土）および3日（日）に高校生等を対象として「オープンキャンパス2003」が行われ、附属図書館も参加しました。当日は、各学部を紹介するメインプログラムが学内で実施されましたが、それと並行して附属図書館も施設を公開し、中央図書館2階の特設コーナーで本学刊行物や教官著作の展示を行いました。参加者は2日間で計3,376名でした。



中央図書館の特設コーナーでの資料展示

横浜国立大学附属図書館 **館報** No. 53 平成15年10月1日

発行所 横浜国立大学附属図書館 **編集** 附属図書館広報委員会

〒240-8501 横浜市保土ケ谷区常盤台79番6号 電話 045-339-3204

ホームページ URL=http://www.lib.ynu.ac.jp/